

## 成績があがらない！

2024. 6. 1 (土)

### 提出する課題が解けないのです！

数年前の話になります。

この県でトップの進学校である生徒が入塾しました。

毎週20題～40題の問題が課題として出され、1週間でこれらをやきり、提出しなければならないのだけれども、さっぱりわからないので教えてほしい、ということでの入塾でした。

高校1年の春です。

### 宿題指導をていねいに、ていねいにやりました

課題が出された日に塾にもってきていただき、全問についての詳しい解説（学校が渡す解答の3倍以上の分量はあります）を書き、その問題を解くときに使う基礎知識についての資料をそろえて、それらを使って生徒に個別指導をしました。

課題として出された問題のすべて、1問1問についてです！

### とてもよく分かるようになったはず、なんですが…

「それだけ丁寧に指導してあげると、さぞ分かるようになったのでしょうか？」

はい、当然です。とてもよく理解して、きちんと答案を書き上げて学校に提出し続けました。

毎週、毎週。夏期講習や夏休み課題として100題近くの問題についても、定期テストごとの間違い直しについても…。

ところが、ところが…

テストで取ってくる点が50点を越えることはできませんでした、例外なく…。

毎回、毎回。ひどいときには28点とか、32点とか。

テストは、課題の中から、数値を変えたり、少し問が加えられたりして出題されています。

テスト範囲の問題のすべて分かってテストに臨んでいるのですが…。

テストがあるごとに不思議で、不思議で…。

再テストでかろうじて赤点を免れて卒業しましたが、2年のおわりまで、事態は変わりませんでした。（3年時は大学受験で数学が必要ないので数学を取りませんでした。）

### 同じようなことが続きました

この生徒の後で、やはり、学校の課題指導をしてほしいという人が何人か入塾し、同じような指導をやっていく中で、このやり方では成績はあがるはずがない、ということ気づきました。

## 宿題指導で手に入れることのできる学力とは

数学の苦手な人は、解法の流れを丁寧に教わると、その場では、「分かったつもり」になるだけなのです。だから、その問題の答えは書けます。しかし、その内容を理解しているのかどうかはその場では外からは見えないのです。苦し紛れに解法を丸暗記する傾向にあるようです。だから、テストで、ランダムに、数値を変えて出題されると、自分で解答を組み立てることができないのです。

## 宿題指導では決して成績はあがりません

前項で述べたことは、宿題指導の危険な一面です。

これ以来、数専ゼミでは、宿題指導は、次のような形ですることになりました。

宿題で解けない問題については、授業内で指導するのではなく、”授業外”で指導します。

①解けない問題を、解答とともにFAXで塾へ送信してもらいます。

Mailでもいいのですが、送信が難しいので、FAXで送ってもらっています。

FAXをもっていなくとも、コンビニのFAX送信サービスを使って送信できます。

②質問の問題の詳細な解き方やその解き方を理解するための基礎知識に関する資料をホームページの|質問箱|というコーナーにアップロードします。これは、スマホで数専ゼミのホームページにアクセスしていただければいつでも見れます。

③それを見ても理解できないときは、次回の塾にもってきていただき、授業前に説明します。

\*詳しくは → Link : |[質問箱](#)| → [質問のしかた] をご覧下さい。

【注意】質問指導は、あくまで塾の”おまけ”であって、塾の”正式”な指導ではありません。

だから、質問指導を受けたからといって必ず成績があがるというわけではありません。

## 授業でやる指導は

授業でやるのは、体系的に基礎から順序ただしく積み上げていく学習です。

各単元の「学習計画書」を見ることで、その単位ではどんな内容をどんな順序で学習するのかを知ることができます。

また、全問の正誤管理をし、解けない問題については、解けるようになるまでくり返し学習させます(=「学力化学習法」による学習指導)。

## 生徒は教わるのではなく、学び取ります

また、先生が教え込むのではなく、生徒自らが学び取ることができるような資料(例題とそのチェック問題、および演習問題)を、スモールステップで積み上げて学習することができる形で提供し、生徒が自分の力で学び取る学習ができるようにサポートします。

## 自ら学び取ったものだけが学力になります。

数専ゼミで学習する教材については、こちらから実物サンプルをご覧になれます。→ |[Essay](#)|